

ること、その発達には遊び環境や両親の態度など多くのことが関与していることがわかった。また都市化された環境に育つこの保育園児全体の傾向として、連続とび越しのような運動はよくできるが、体支持など持久性やがんばりを要する運動は劣るなど、きまづい狭隘な生活環境や経験が幼児の発達に影響することもわかった。今後大人の責任として、保育の実践の中で考えていかねばならぬ問題であり、そのためにも、遊びや環境をもって掘り下げて、運動のみでなく、情緒や社会性の発達についても考えていきたいと考える。これを機会に他の地域での研究もお教えいただき、ご意見やご示唆がいただけたらと心から願っています。

(埼玉県立厚生保育専門学院)

注1 John M. Dignan; Principal dimensions of child Personality as interred from Teacher's judgement. Child Dev., 1963 34, 43—60

注2 飯島婦佐子「幼児行動評定作製のための試み」日本心理学会第三十九回大会発表論文集

注3 「体育の科学」二十六巻四号一九七六年 二四九頁—二五二頁
(注1, 2は前号掲載分です)



幼児の教育 第七十六巻第一号

一月号 ◎ 定価二〇〇円

昭和五十一年十二月二十五日印刷

昭和五十二年一月一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者

112 東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発売所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ二一

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一

発行所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所
所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。